



木崎地区で定期的に行われている朝市は、新鮮でお得な野菜が並ぶだけでなく、住民同士のあたたかな交流の場にもなっています。

ちょっとした立ち話や笑顔のやりとりが、地域のつながりを育み、お互いの見守りにもつながっています。

顔の見える関係が自然に広がる、そんな朝市の様子をご紹介します。



木崎地区
朝市

100円～YESか農家



毎朝6時半頃から木崎コミュニティ運動公園の南側で開かれている朝市「100円～YESか農家」。

ほとんどの野菜が100円から並び、地域の方や遠方からのお客さんでにぎわっています。

出品者は家庭菜園を楽しむ男性が多く、みんなで野菜を持ち寄り、笑顔で会話を交わしながら和気あいあいと店を出しています。お客さんとの会話も魅力のひとつで、買い物だけでなくふれあいも楽しめる場です。あいさつやちょっとした会話が交わされるこの朝市は、地域に自然なつながりを育んでいます。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



左) 東谷喜久男さん 右) 坂庭廣志さん

この朝市は約10年前、東谷さんが家庭菜園の野菜を販売したことからはじまりました。

今では6名ほどの仲間と毎朝新鮮な野菜を出しています。坂庭さんは出品していませんが、朝市での交流を楽しみに通っています。

朝の居場所は二人にとって大切な交流の場になっています。

左) 藤平博さん 右) 藤平米司さん

藤平さんご兄弟は、約2年前から朝市に出品しています。最初は弟の米司さんが東谷さんの声かけで参加し、続いて兄の博さんも誘われて始めました。

お二人とも出品だけでなく、朝市での会話を楽しみにしています。



原口初男さん

生品神社のバザーで東谷さんと知り合ったことをきっかけに朝市を知り、2～3年前から通うようになりました。

「東谷さんとの会話や仲間との交流、そして安く野菜を買えることが楽しみ」と話しています。

購入した野菜は親戚にお裾分けしており、喜ばれているそうです。

小池純央（すみお）さん

近くにお住まいで、歩いて来られたそうです。

子どもの野球を通じて、コミュニティの南側にある朝市を知り、訪れるようになりました。

新鮮でお得な野菜が手に入るのが魅力で、通うのが楽しみになっているそうです。



多国籍なお客さんも多く訪れます



朝市は国を超えた交流も育んでいます

check

この朝市は、出品される方や会話を求めて訪れる方に男性が多く、男の交流の場にもなっています。

また、新鮮でお得な野菜を求めて多国籍の方々も多く訪れ、会話も弾む、なかなかない地域の交流の場です。

こうしたさまざまな人々の交流が顔の見える関係を生み出し、朝市は地域のつながりを育む大切な場となっています。

